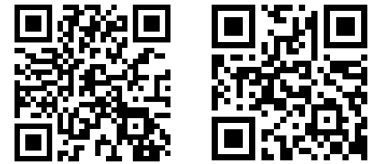


地域の労働者と青年の結集をめざす

横三労連新聞 第174号



2021年4月13日発行

ホームページ メール

<http://www.yokosan.info/index.htm> e-mail:lycoris06@jcom.home.ne.jp

046-823-0210 (内線433) 238-0006 横須賀市日の出町2-9-19

職員過半数代表者選挙

①特殊勤務手当 支給期間
さらなる延長を求めます
コロナ収束まで!!

投票期間
3月12日(金)~3月22日(月)

②サービス残業を無くす

結果発表 3月23日(火)

③増員を要求します。

④夜勤回数の増加を防ぎます。

わたしが過半数代表になったら
やります!

⑤年休が取り易くなるように
交渉します。



労働組合代表
加藤江里香

6月に市長選挙!

横須賀市も三浦市も、この6月に市長選挙が行われます。横須賀市は、20日告示、27日投票です。

横三労連も加盟する、横須賀の「市民の市長をつくる会」では、昨年からの市長選挙の準備を続けてきましたが、候補者擁立に至らないまま、時間が経過しています。そんな中、1月には、「11区市民連合」から、市長選挙取り組みの呼びかけがあり、「市民の市長をつくる会」は、候補者選定を一時保留し、市民連合の会議に参加しています。

市民連合では、複数の候補者候補の名前をあげ、交渉を続けている様子です。候補者決定まで、もうしばらくお待ちください。尚、各単組に、「市民の市長をつくる会」の政策をお配りしています。どうぞご活用下さい。

うわまち病院で職員過半数代表選挙!

うわまち病院では、3月に、職員過半数代表者選挙が行われました。労働組合は今回も、加藤江里香執行委員長を候補に擁立してたたかい、133票(40.1%)を獲得し、大健闘しました。コロナ禍の中で投票率が低迷する中、票は前回比90票減りましたが、率は1.0ポイントの増となりました。

コロナ禍で困難な状況が続く中、スマホからの投票が可能になるなど、制度の改善があったものの、投票率は42.1%と大きく後退しました(前回73.4%)。投票率が過半数に届かないのは、大きな問題です。原因の詳細な分析と、抜本的対策が必要と考えます。また今回組合は、コロナ禍の中、十分な事前準備ができず、思うような選挙運動を展開するには至りませんでした。このことが、全体の投票率の低迷にもつながったと考えられます。

横須賀の基地強化2つ

米海軍は、浦郷弾薬庫に隣接する堤防をつくり、弾薬を直接艦船に積み込む事を計画しています。浚渫費用は思いやり予算です。住宅地に近いところで弾薬を積み込む危険性に加え、狭い海域での大型艦船の方向転換の危険性もあります。

海上自衛隊は、世界初のリチウムイオン電池使用の「そうりゅう型」潜水艦の12番艦「とうりゅう」を、横須賀に配備しました。バッテリー駆動は原子炉よりはるかに静かで、戦闘力が高いのですが、航続距離や重量、出力に限界がありました。リチウムイオン電池搭載で、これらが大幅に改善されます。



自衛艦旗を掲揚した「とうりゅう」
(画像・川崎重工業)